

総合的な学習の時間 全体計画

大分市立佐賀関中学校

【総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【めざす生徒像】

- ・多角的な視野から得た情報を分析・考察する中で課題を設定し解決しようとする事ができる生徒
- ・集団の中で、自己表現できるコミュニケーション力が身につけている生徒
- ・互いの良さを認め合いながら、他者と協働し課題を解決することができる生徒・佐賀関での自らの生活を見つめ直し、地域の一人としての自分の役割や行動について理解し、地域のために貢献することができる生徒
- ・考えたことを行動に移し、検証し、さらによりよいものを求めて活動することができる生徒

【学校教育目標】

「自らの夢の実現に向けて主体的に学び、人間性豊かで郷土を愛する心身ともにたくましい生徒の育成」

【本校の総合的な学習の時間の目標】

- ・横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。また、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。
- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
 - (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 - (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとする態度を養う

【保護者の願い】

- ・地域を愛し、誇りを持って生きる。
- ・主体的に社会に参画できる人間に成長する。
- ・基礎的な学力や技能を身につけ、将来の進路実現をしっかりと果たす。

【地域の願い】

- ・日豊海岸国定公園の中に有り、リアス海岸が続く地域で、古くから盛んな漁業を大切にしてほしい。
- ・日鉱佐賀関など、地域の産業を基に発展してきた歴史に関心を持ってもらいたい。
- ・地域の産業、文化に誇りを持ってほしい。

学年	第1学年（50時間）	第2学年（70時間）	第3学年（70時間）		
テーマ	仲間とともに学校生活や地域を学ぼう	仲間とともに地域・社会を通して自分を磨こう	仲間とともに地域・社会の中で自己実現を図ろう		
探究	○自然と防災 ○自分探し① (職業についての学習)	○災害時に自分たちに何ができるか ○自分探し② (職場体験や進路についての学習)	○防災のために自分たちにできること ○自分探し③ (進路や自己の将来についての学習)		
課題	○地域密着型課題：環境保全（海岸清掃）、ボランティア（施設訪問、関の鯛釣り踊り等）				
育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「海岸清掃」「宿泊体験」等の活動を通して、地域、郷土の自然・環境の現状がわかる。 ・「福祉体験」「防災学習」等の活動を通して、地域の人々と自分との関わりが分かる。 ・職業について情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探求の過程に応じた技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「海岸清掃」「修学旅行」等の活動を通して、地域、郷土の環境・歴史の良さや特徴がわかる。 ・「福祉体験」「防災学習」等の活動を通して、自分との関わりや地域の願いが分かる。 ・職場や進路について情報を多面的に見る、考えを具体化するなど、探求の過程に応じた技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「海岸清掃」「修学旅行」等の活動を通して、地域、郷土の環境・社会の良さや課題がわかる。 ・「福祉体験」「防災学習」等の活動を通して、自分の生き方や地域の課題が分かる。 ・卒業レポートや自分の将来について、情報を構造化する、抽象化するなど、探求の過程に応じた技能を身につけている。 	
	思考力・判断力・表現力等	課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの活動の課題を発見し設定している。 ・解決の方法や活動の手順を考え、見通しをもった計画を立てている。(やりぬく力) 		
		情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの目的や活動に応じて、適切な方法で情報を収集している。(やりぬく力) 		
		整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・活動から学んだ事実を整理し、理解する。・多様な情報にある特徴を見付ける。 ・事象を比較したり因果関係を考えたりすることで、目的に沿って多様な情報を分析している。(やりぬく力) 		
		まとめ・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたり考えたりしたことをレポート等でまとめ、目的や意図に応じて論理的に表現している。 ・各教科等で身に付けた技能やICT等を活用して表現している。(やりぬく力) 		
		振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の仕方や進め方、感想等を振り返り用紙に記入し、今後の活動に生かそうとしている。(やりぬく力) 		
	学びに向かう力・人間性等	主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思で目的をもって課題の解決に取り組もうとしている。(こだわる力) 		
		協働性	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの他のメンバーと協力して問題の解決に取り組もうとしている。(かかわる力) 		
		自己理解	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して、自分や地域について振り返り、自分の特徴やよさを理解しようとしている。(こだわる力) 		
		他者理解	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して、友人の意見や考えも受け入れ尊重している。(かかわる力) 		
地域貢献		<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して、地域の問題の解決に取り組んだり、積極的に地域の活動に参加したりしようとしている。(かかわる力) 			

【学習活動】

- ・地域の実態、生徒の実態を踏まえ、探究課題を設定する。
- ・地域の人、もの、施設を生かした学習活動を行う。
- ・学習成果を表現する場を設定するなど学習活動の目的を明確にする。

【指導方法】

- ・生徒に課題意識を持たせる支援と工夫を行う。
- ・各教科等との関連を重視した指導を行う
- ・整理・分析したり、まとめ・表現したりする学習を重視する。

【指導体制】

- ・生き生きサポート学習事業を利用して、外部講師の招聘を行う。
- ・地域と連携しながら事前打ち合わせを十分行い、当日、安全に活動ができるよう配慮をする。
- ・小中、全校、学年で取り組めるよう職員会議にて指導の流れを確認する。

学習の評価

評価観点	評価規準
1 やり抜く力 課題意識をもち、活動する	・日々の学習体験や身の回りの様々な事柄から課題を見つけ、興味関心を持ち課題を解決しようとする。個人及び協働(協同)
2 こたわる力 意欲的に様々な情報を収集・活用し課題解決に向け志向する	・課題解決に向け、様々な方法で情報収集し、それらを活用し自ら考察する。ワークシートなど
3 かかわる力 コミュニケーションを図り、自らの考えを伝えと共に、自らの生き方を示す	・自発的、主体的、積極的、協働的に取り組む。 ・他者とのコミュニケーションを通して、自己の考えを再構築できる

【各教科等との関連】

各教科等	特別の教科道徳	特別活動
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能の確実な定着と活用 ・ユニバーサルデザインの授業 ・協働的学習の場 ・学習意欲の喚起(家庭学習の定着) ・体験活動 ・課題解決学習の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生活全般にもたせ、民主的な社会・文化の創造に主体的に向き合える心を育てる。 ・指導の重点目標 生命の尊重と心身の鍛練 自主自立の精神と責任感 勤労の尊さと生きがい 人間愛 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働的な学びの場”を作り上げる ・集団の質の向上 ・指導の重点目標 生徒会活動 学級活動 部活動

【小学校との連携】

- ・小中合同「海岸清掃」、小中合同「百人一首大会」を実施して、小中縦割りのグループでの体験活動を行う。
- ・小中合同「部活動体験」を実施して、中学校の部活動への見直しを持たせる。
- ・文化発表会での「小中合同合唱」を実施して、中学校行事へふれる機会を持たせる。
- ・小中9か年を見通した「道徳教育と総合的な学習の時間の関連（小中連携）」表を作成し、小中一貫教育の「徳の部会」で各活動の指導について打ち合わせや交流を行う。